

第二十四回
(平成三十年度)

平成独楽吟

福井に生きた幕末の歌人、橘曙覧（たちはなのあけみ）。

曙覧が詠んだ一連の作品として『独楽吟』^{いっらくぎん}があります。

『独楽吟』は、「たのしみは」で始まり「…とき」で終わる形式で詠まれた五十二首の連作の短歌で、貧しいながらも心豊かに日々を暮らしていた、曙覧の様々な楽しみが詠み込まれています。

一九九四（平成六）年、天皇后両陛下がご訪米された際、当時のクリントン大統領が歓迎スピーチにおいて、「たのしみは朝おきいでて昨日まで無かりし花の咲ける見る時」の一首を引用されたことで、曙覧と代表作の『独楽吟』に注目が集まりました。

この翌年より「平成独楽吟」^{へいせいどらくぎん}と称し、曙覧の『独楽吟』の世界に学び、何気ない日常の中で感じた身近な楽しみ、ささやかな楽しみを詠んだ短歌の募集を始め、今回で二十四回目を迎えました。あわせて、正岡子規に「万葉集や実朝以来の歌人」と絶賛された曙覧にちなみ、テーマを設けた短歌も募集しています。今回は、「あの日」を題材にした短歌を募集しました。

平成最後の募集となった今回は、独楽吟部門に七二六五首、テーマ短歌部門には八五七首、両部門合計で八一二二首のご応募をいただき、一三一校から学校単位での応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。

それでは、たくさんのお応募作品の中から入賞・秀作に選ばれました作品を、各部門の総評とともに紹介いたします。全国から寄せられました、「たのしみ」の歌、心に残る「あの日」の歌をどうぞご覧ください。

もくじ

はじめに

第二十四回平成独楽吟 入賞・秀作作品と総評

独楽吟部門 審査員 …………… 4

独楽吟部門 入賞・秀作作品 …………… 5

独楽吟部門 総評 …………… 10

テーマ短歌部門 審査員 …………… 18

テーマ短歌部門 入賞・秀作作品 …………… 19

テーマ短歌部門 総評 …………… 23

第二十四回平成独楽吟 応募結果 …………… 28

第二十四回 (平成三十年度) 平成独楽吟

入賞・秀作作品と総評

独楽吟部門

審査員

市村善郎

歌人

橋谷桂子

童話作家

佐孝石画

俳人

足立尚計

歌人

独楽吟部門

橘曙覧賞

楽しみは出来たぞ孫がようやくに杉三代の苗植えるとき

山形県 湯乃村 絃一

独楽吟部門 入賞作品

福井県知事賞

たのしみは「?」も「。」も使わない母からのLINE読み返すとき

愛知県 成田有里

福井市長賞

たのしみはかえるアメンボかたつむりみんな集まる雨がふるとき

東京都 山内空

福井県教育委員会賞

たのしみは買い物カゴを「僕が持つ」前に行く子の背中見たとき

愛媛県 堤善宏

福井市教育委員会賞

たのしみは妹寝た後こっそりとやわらかいほっぺつついてみる時

岐阜県 炭竈凜奈

福井新聞社賞

たのしみは地下鉄乗り換えやってくる卒寿の母の「来たでえ」聞くとき

大阪府 松井詔子

日本放送協会福井放送局長賞

たのしみはジェットコースターでっぺんであと一秒で鳥になるとき

兵庫県 吉住来花

福井中央郵便局長賞

たのしみは孫の手紙の平仮名が文字らしくなり読み解けたとき

新潟県 阿部昌彦

熊本市賞

たのしみは双子の兄とタイミング合わせてないのにそろって言う時

福井県 玉本風斗

歴史のみえるまちづくり協会理事長賞

たのしみはもうすぐ上がる中学へ九人一緒に進学するとき

沖縄県 島田そら

学校賞

沖縄県 沖縄三育小学校

福井県 美浜町立美浜中央小学校

たのしみは玄関先を掃きながら登校の子と会話するとき

東京都 野村 ひとみ

たのしみは筋トレジムへ通う妻帰り待ちつつ米を研ぐとき

茨城県 小牧 悦二郎

たのしみは夫の遺しし句の中に吾を詠みたる句のありしとき

広島県 京 極 良子

たのしみはじいじ下手だと言われつつ孫の相手のボール蹴るとき

神奈川県 北村 純一

たのしみは対戦相手とそんきよして相手のすきで一本取る時

福井県 久保 寛人

たのしみは小さないろがみてのひらで生まれたつるが羽広げるとき

大阪府 植村 和香子

たのしみは陸上するとき先頭で忍者のように走ってるとき

福井県 池戸 俊太

たのしみは帰省の子らの脱ぐ靴の大きくなりしが並びたるとき

福井県 中塚 幸子

たのしみは海辺に続くおばの家ゆっくり歩き懐かしむとき

宮城県 松井 真美

たのしみは大漁報せる夫からの嬉々とした声耳にするとき

宮崎県 梅田 貴子

たのしみは「今年で最後」のくりかえし母と一斗のもち米とぐとき

東京都 亀田親子

たのしみは新しいくつ買った後よごさないようきをつけるとき

神奈川県 中田航太郎

たのしみはマウンドの上で白球を自分の指に当てている時

滋賀県 吉田脩人

たのしみはプレゼントしたマグカップ祖父母がそれでコーヒー飲む時

兵庫県 山村優友

たのしみは去年の浴衣裾下ろし目を細めつつ児に着せるとき

千葉県 安田清一

たのしみは売りに出せない茄子を揚げ妻とくつろぎビール飲むとき

熊本県 興呂木和朗

たのしみは故郷の祖父母と電話する娘の言葉がなまっていくとき

神奈川県 小野寺杏里

たのしみは夫とペンキで登山道の案内の札作るひととき

長野県 瀧澤淳子

たのしみは洗濯の山ひとつふえ干した産着に陽のあたるとき

長崎県 菅寛子

たのしみは口答えする幼子の言い分に理があるというとき

三重県 田中亜紀子

独楽吟部門 総評 審査員長 市村善郎

入賞おめでとうございます。緊張と静寂の中の表彰式が終わりましたので、私の時間になりました。一度深呼吸をしてから気楽に聞いてくださると、私もその分、楽になります。まず橘曙覧賞からですね。その前に、「たのしみは」で始まる独楽吟、まずどういう基準で、私らというのか私は審査しているのか、そこをちょっと聞いて欲しいんですけど。「たのしみは…とき」ということは、近い未来を設定して、過去ではなしに未来を設定して詠んでいるかというのを、まず見ます。それと、その中でその作者が見えるかどうか、今でなければできない歌だろうか、そういうところを見て選んだつもりです。それで、今日の入賞作品というのは、みんなだいたいそういう基準になっています。で、それをまたふまえながら鑑賞してもらえるといいなと思います。

橘曙覧賞

楽しみは出来たぞ孫がようやくに杉三代の苗植えるとき

山形県 湯乃村 紘 一

「楽しみは…とき」というおとなしい形にしてはめずらしく、叫びの歌ですね。「出来たぞ」と、ここから始まっているのね。それで「孫が」ってまたくるね、普通、短歌の一般的には上の句、最初の五音が次の七音にかかってくる、言葉が続いてくる、そういうものを一応の基本とします。これは続いているんですね。「楽しみは出来たぞ孫が」、これは普通は、「ようやく孫が出来たぞ」と言うのが普通の文章です。それだとなんにも感動はないから、この人、考えたんでしょね。「出来たぞ」と、そこから言っちゃった。そこが今度は逆によかったらうと、そういうところで作者の喜びが大きかったというのを鑑賞してもらえればいいなと思います。それからこれは、おそらく孫さ

んがまだ生まれてないのかなあと思いながら鑑賞したんですけども、その思いが三代の杉へ移る。この方の生まれた時にも親御さんは杉の木を植えてくれたんですね。そしておそらくこの人の子どもの時も、今度はご自分が植えて、孫の、三代続くっていうのを待ってたら赤ちゃんが出来た。それと今度は、この作品のいいのは、「ようやくに」という言葉の使い方、これは上の句の「出来たぞ孫が」と、「杉三代の苗植える」というのを非常にきちつとつないでいる。そこらの巧みさというのもこの歌のいいところだろうと思いました。

福井県知事賞

たのしみは「？」も「。」も使わない母からのLINE読み返すとき

愛知県 成田 有里

この、「？」と「。」をどう読むのになって考えたんですけど、これは確かに、「はてな」と「まる」と呼ぶといいな。これは、今までの短歌になかった。このお母さんのLINEでないんですけど、短歌には「？」と「。」はあんまりないんですね。これは画期的な歌で、そこが面白いと思いました。このクエスチョンマークと句点と読んでしまっちゃうと歌にならないので、これ上手いなあと僕は思いました。そこらへんが魅力ですね。工夫の仕方っていうのは短歌はまだまだあるんだなあと、そんなことを思いました。

福井市長賞

たのしみはかえるアメンボかたつむりみんな集まる雨がふるとき

東京都 山内 空

入賞してから東京の方だというのがわかりました。私みたいに福井の人間は、東京にはカエルがいるんかいな、と思っていたんですけど、いるんですね。学校の池でしょうかね、なんかそういうところ、公園かも知れない。この歌

のいいのはやっぱり、雨だって楽しいんじゃないかなあって、そんなこと思わせてくれた所がいいですね。だから「たのしみは」ですから。雨が降る日だって楽しいんだって、それも子どもの目線で言う。雨が降ったらいやだなあ、ではなしに、雨が降る時だっていいんだなって、いい作品になりました。

福井県教育委員会賞

たのしみは買い物カゴを「僕が持つ」前に行く子の背中見たとき

愛媛県 堤 善 宏

「僕が持つ」って、買い物カゴを持って前へいく子は、おそらく小ちゃい。「子」って書いてありますけれど、子どもさんではなしに、孫さんかなあといいながら見たんですけど、男の子でしょうかね。だから大股に歩いて行く、買い物カゴを僕が持って大股に歩いて行く、そんな姿が見えて楽しいなあっていうことですね。

福井市教育委員会賞

たのしみは妹寝た後こっそりとやわらかいほっぺつついてみる時

岐阜県 炭 竈 凛 奈

妹が寝た後、これはやってみたいなあ、と思うね。ちよっとつついて、うんうんて言いながら、目開けないで、首振っているような。そんな姿がほんとに目の前に見えてくるし、これ何回か読んでいると、自分もちよっとほっぺつついたような気分になるっていうのがいいですね。そこらまで短歌って思わせてくれるんだなあと思います。そこを一緒に鑑賞できる、そういうところがいいんだろうなと思います。

たのしみは地下鉄乗り換えやってくる卒寿の母の「来たでえ」聞くとき

大阪府 松井 詔子

この「来たでえ」が楽しいんですよ。大阪の訛りをあんまり知らないものですから、「来たでえ」のどこにアクセントがあるのか知りませんが、なんかこの「来たでえ」だけで、いいなあと思いました。九十歳ですよ。九十歳なんてのはもう、すごい歳だと思っていたんですけど、実を言いますとそんなに先でなくなってきましたんで、これはね、私勝手ですけど、そんなに前じゃないから、これひよっとすると手が届くんかなくて。まあそんなことも思わせていくと、これは歳のいった人でも若い人でも鑑賞できる。お母さんのたくましさがいいですね。それをすつと出してきている。

日本放送協会福井放送局長賞

たのしみはジェットコースターでっぺんであと一秒で鳥になるとき

兵庫県 吉住 来花

これも私の子供の時分にはなかった遊戯なんですけれど、この「あと一秒で鳥になる」、だから彼女は何回も経験して、そこからガタガタって上がって下りるんでしょうね、バーっと。その瞬間っていうのをずっと経験して、「あっ、またあの瞬間にあえる」っていう、その期待感がある。「あと一秒で鳥になる」、この感覚がいいですね。こういう感覚を掴んでいて欲しいなと思いました。

たのしみは双子の兄とタイミング合わせてないのにそろって言う時

福井県 玉本風斗

双子の兄弟っていうのはやっぱりそうなんでしょうね。テレビなんかで時々双子の方が出てくると、そんなのありますから。「あ、そうなんだな」と思わせて、こうして改めて出されてみると、面白いなと思います。今日はお兄ちゃん来てないのかな？、なんかそれもありますね。

歴史のみえるまちづくり協会理事長賞

たのしみはもうすぐ上がる中学へ九人一緒に進学するとき

沖縄県 島田そら

これは感動しました。九人の同級生だから、九人しかいないということは、学校そのものがそんなに大きくないんだろう、生徒数もね。ひよっとすると、小学校と中学校と近い所にあるのかなあなんて、そんなことも思わせました。島田さん、沖縄の方ですね。事務局から、表彰式出席してくださいますよって聞いて、それもうれしくなりました。遠い所からほんとに。今日の福井は雪が降ってないので残念ですけども、ちょっと見て帰ってもらうといいなと、これ余分ですけどそんなことを思いました。ただ、短歌のリズムからいくと、九人（きゅうにん）は、九人（くにん）と読んだほうが流れはいいように思うんですね。

秀作

たのしみは筋トレジムへ通う妻帰り待ちつつ米を研ぐとき

茨城県 小牧悦二郎

なんとなくいいなあと思ったんですけどね、奥さんが筋トレ行ってる、そしてお腹空かして帰って来るんですね。

ご主人は美味しいご飯を作って待ってる。それを食べるから、またすぐ元へ戻る。そして明日また筋トレ行く。明日また美味しい物食べると、また戻る。なんかそれを想像すると実に楽しいな。ごめんなさいね、こっちで勝手に想像してる。でもこれが不自然でなくて入ってるからいいなあって。ご主人の優しさ、奥さんの顔が見えてくるような気がするんですけど、そこらを見せてくる雰囲気を持ってってというのがいいですね。

たのしみは夫の遺しし句の中に吾を詠みたる句のありしとき

広島県 京 極 良 子

私は俳句をそんなにいっぱい読むわけじゃないんですけど、意外と夫とか妻を詠んだ句ってというのは、短歌はけっこうあるんですけどね、あんまり無いように思うんです。それでも、「吾を詠みたる句」があったと、それを見つけた一瞬のときめきですね。この作者のときめきが、あるやらかと思って、あったっていう、それが見えてくるのがこの歌のいいところですね。

たのしみは対戦相手とそんきよして相手のすきで一本取る時

福井県 久 保 寛 人

「そんきよ」ってという言葉を使うのは、剣道かお相撲なんですね。だから「一本取る時」っていうから、なんか肩幅あって背の高いがちりした子が出てくるかと思ったら、意外と小さかった。だから相手は油断するからすぐ一本取れるのかなあ。頑張ってください、身長はまだ伸びますから。この作品もいいなあと思います。

たのしみは小さないろがみてのひらで生まれたつるが羽広げるとき

大阪府 植 村 和 香 子

これは、ほっとさせますね。これもそのまんまで絵が見える。こういう所がいいなと思います。

たのしみは帰省の子らの脱ぐ靴の大きくなりしが並びたるとき

福井県 中塚 幸子

これは、どうなんでしょうね、お婆ちゃんを目なんでしょうかね。だからお孫さんの靴が、帰って来るたびに大きくなってる。そういう所で子の成長つてのを出してるのが、上手いなと思いましたがね。ばーっと散らかして脱いだのが揃うようになってるのかもしれないし、そういうことも思わせたりして楽しいなと思いました。

たのしみは「今年で最後」のくりかえし母と一斗のもち米とぐとき

東京都 亀田 親子

今、福井らでも自分の家で餅をつくというのは少なくなりました。私の所なんかでも近所散歩してても、年末餅つき音を聞くことが本当になくなりました。私は子供の時は、つき屋さんというのが杵持って歩いて、家で蒸籠せいろうでもち米をそれに合わせて蒸かしておくと、玄関先でついてくれたりしたのがいたんですけどね。そんなのなくなつたなあと思う。それでも「今年で最後」のくりかえしながら、お母さんともち米を研といでいる。これは、じーっと鑑賞させてくれる歌ですね。

たのしみはマウンドの上で白球を自分の指に当てている時

滋賀県 吉田 脩人

今から試合開始でしょうかね。最初のボールを投げようかというところかなあと思いつつながら見てるんですけど。白球ですし、指に当てて確かめてるんですから、そんなシーンが想像できますね。その絵を見せてくれたのが、この歌の手柄だろうなと思います。言い忘れたんですけど、これも約八千近い歌の中から、この順番を決めるのは非常に大変でした。読んでいるうちに疲れて来ますわね。それを克服してこだけ良い作品選んで来たんですよ。壇上にこうやって上がってみたら本当にいい作品だなと改めて思います。事務局がスポンサーをもう十人ほど用意してくださる

と、入賞がまだ十人ほど増えるんですけどね。なんかそんな事を思っただけで非常につらかったのは、入賞数が限定の中へ入れなきゃならないということでした。

学校賞 沖縄三育小学校

沖縄から先生来てくださいました。さっきちょっと言いましたけど、この他に一応予選通過をちょっと見ましたら、「たのしみは学校帰りお兄ちゃんと一台のピアノ一緒にひく時」「たのしみは飛行機乗ってアメリカへ十三時間後母に会う時」ってこんな歌が混じっていました。九首非常にやっぱり揃っていたっていうのが、我々の中でこの学校を押した最大の原因です。九人っていう、その所に先生が余分な口をあんまり入れた気配がなくて子ども達の作品があるっていうこと、そこがいいと思います。

学校賞 美浜町立美浜中央小学校

「そんきよ」の彼の歌もここなんですけど、二十八首ですね。これも二十八首よく読んでみると、子ども達の言葉で作っているっていうのを先生が見てるなあっていう。これも添削あんまり入ってない、大人が直すと大人の目線が入るんですね。子どもの目線を大事にしてくださいました。そこが良かったかなって、そんなこと思います。今回も本当に百何校の中の二校なので、胸を張って帰っていただきたいと思いますし、また来年お会い出来るよう頑張ってくださいと思います。

どうもありがとうございます。

テーマ短歌部門

(テーマ「あの日」)

審査員

福島泰樹

歌人

加賀要子

歌人

喜多昭夫

歌人

足立尚計

歌人

テーマ短歌部門（テーマ：あの日）

橘曙覧賞

母の背であの日見上げた赤とんぼ今は背負った母と見ている

千葉県
小林

功

テーマ短歌部門 入賞作品

福井県知事賞

機銃掃射必死に逃れ舟底へ潜り生還あの日忘れじ

福井県 橋本 教 専

福井市長賞

目覚むれば蚊帳のうちにて母吾を扇ぎいし風の涼しきあの日

福井県 佐々木 邦 子

福井県教育委員会賞

行季背負ひし父と並びて停車場へ春まだ浅き旅立ちの朝

福井県 永 田 弘 子

福井市教育委員会賞

逆さまの世界を二人で覗こうと校庭の水たまりにしゃがむ

広島県 宗 藤 ふたば

福井新聞社賞

妻連れて赴任の日見る九頭竜の雪の残れる山の高さよ

京都府 木 下 晴 生

日本放送協会福井放送局長賞

思はざる退職勸奨に我はただドア後手に部屋を出でにき

福井県 中 長 昌 一

福井中央郵便局長賞

手を取られマニキア塗られてほほ笑みき緩和病棟にあの日の母は

福井県 後 藤 由美子

歴史のみえるまちづくり協会理事長賞

焼夷弾のすだれの中に消えた母三月九日疎開児八歳

福井県 田 中 美代子

兄家族送り出してもわが親と福島残る覚悟決めし夜

福島県 油谷 文恵

嘘をつき義母^はを入院させた日の夫^{つま}と見上げた霽降^{みぞれ}る空

神奈川県 松村 美知子

ただ一度夫が酒を飲んだのは出征前の夕飯の膳

山形県 柏屋 なよ

「呉に着く」兄生還す戦終え三年経った母のあの日よ

沖縄県 今岡 久代

サイパンの陥落知らされ我産みし心細さを晩年に聞く

東京都 石塚 洋子

拉致されしあの日を語る地村氏の顔がたまゆら曇る瞳^めの中

福井県 織田 香寿子

病みし身をひたむきに生きて兄逝きぬあの夏の日の光の向かう

神奈川県 鎌田 澄子

放課後の静まりかえる教室にふたり見ていた秋の夕焼

宮崎県 近藤 國法

沖縄のあの日忘るなと青空にうねりてひびくシュプレヒコール

鳥取県 塚田 和喜

こんでいて君との距離が近くなる心臓の音聞こえちゃうかも

岐阜県 佐藤 月

「行ってくる」背中で手を振り越前へ日本一の研ぎ師になると

神奈川県 小森 正美

震災の刻ときがとまったままの家荒れ野の中に哭なきながら佇たつ

茨城県 大熊 佳世子

金に照るすすきの中をかき分けてまだ小さかったあの日を探す

香川県 中元 悠

移転先記す葉書の片隅に「仮設ですが」と被災地の友

大阪府 渡辺 廣之

昨日より見上げた空が青すぎてあなたを好きと気付き戸惑う

静岡県 荒井 紀恵

暁光の引揚船の甲板で父が指差すあれが内地と

山口県 熊本 芳郎

ひゆるひゆると闇夜に聞こゆ焼夷弾幼児の僕はあの日忘れず

静岡県 柳谷 益弘

大人なぞ信じられぬと制服を縦に切り裂き泣いた十四

埼玉県 遠藤 陽子

洗顔後鏡にうつる秒針が左にまわる退職の朝

神奈川県 井上 靖

いくたびの夏をこえても満洲のあらし荒野が祖父母の故郷

岡山県 有友 紗哉香

テーマ短歌部門 総評 審査員長 福島泰樹

受賞者の皆様おめでとうございます。「あの日」、実に素晴らしいテーマであります。人生のいろいろな場面、みんな「あの日」を抱えて生きていくわけがあります。昭和二十年三月九日の東京大空襲の作品がございました。三月九日、そして十日の明け方まで東京は燃え続け、一夜にして十万人ですよ、空襲による大虐殺が行われたわけで、一夜にして十万人の人達が亡くなっております。今日は、まさにその日でありまして、そして明日は東北地方大震災から数えて八回目の大震災の日であります。また、平成という時代最後の表彰式であるわけがあります。それでは心して受賞作の選評をさせていただきます。

橘曙覧賞

母の背であの日見上げた赤とんぼ今は背負った母と見ている

千葉県 小林 功

もう、たまらないですね。歳月の彼方、母の背で見た赤とんぼ。今はその母を背負って共に見ている。家族が崩壊しつつある時代であります。その中において、この親子の絆の深さ、あらためて目頭を熱くいたしました。

福井県知事賞

機銃掃射必死に逃れ舟底へ潜り生還あの日忘れじ

福井県 橋本 教 専

先ほど、市村先生からお話伺いましたら、福井市においては、七月十九日に大空襲を受けております。戦争体験者がだんだん少なくなっていく昨今でございます。今はほんとに、しかし、体験したことはですね、語り継がなくては

いけないんです。語り伝えなかったことが今日いろいろなことを、災いを起こしているのではないかと思います。そういう意味において、いつまでも橋本さん、この体験を語り続けてください。素晴らしい作品であります。

福井市長賞

目覚むれば蚊帳のうちにて母吾を扇ぎいし風の涼しきあの日

福井県 佐々木 邦 子

「蚊帳」という言葉もね、蚊帳、ご存知ですか（若い司会者へ）？ そうですね、知らないと思っていただけ、ほんとに、もう蚊帳は、ほとんど使われていない今日でございますが、しかし、この佐々木さんの心の中にはいつもいつまでも蚊帳の中にいる自分、そして、いつまでも扇いでいてくれる母、その顔がいつまでも…。素晴らしい、しみじみと胸を打つ作品でありました。

福井県教育委員会賞

行季背負ひし父と並びて停車場へ春まだ浅き旅立ちの朝

福井県 永 田 弘 子

「春まだ浅き旅立ちの朝」、見事ですね。「行李」といい「停車場」といいね、行李、ご存知ですか？、ほとんど見ることなくなってしまうました。しかしね、大きい物をいっぱいに入れた、行李を背負って私達の親たちは生きてきたんですね。その行李、そしてしかも「父と並びて」、これからどこへ、どのような事情で旅立って行ったのか、まさに「あの日」、忘れられない「あの日」ではなかったかなと存じます。

福井市教育委員会賞

逆さまの世界を二人で覗こうと校庭の水たまりにしゃがむ

広島県 宗 藤 ふたば

若い人の作品も採らなくちゃいけないなあと思って、多分若い人だなと思って、それで実はね、苦渋の選択でし

た。他にいい作品が今回目白押しでした。しかし、ぜひ若い人も入れなくてはいけないと思って、この作品を採らせていただきました。カメラなんかでも逆さに写るんですね。そのトリックを見事に詠っていてね、なんか目を洗われるような思いがいたしました。

福井新聞社賞

妻連れて赴任の日見る九頭竜の雪の残れる山の高さよ

京都府 木下晴生

歌枕と申しまして短歌では地名をやはり大事にいたします。この「九頭竜」、これはやっぱりいいよな、音もいいし、それから視覚的にもいいしね、この川のうねりみたいなのが、音まで聞こえてくるような歌ではないかと思えます。妻を連れて希望と同時に去って行かなければならない悲しみ。いろいろな思いが、けぶっているのではないかなと思って選びました。

日本放送協会福井放送局長賞

思はざる退職勸奨に我はただドア後手に部屋を出でにき

福井県 中長昌一

男にとって職場がやはり命であるし、生きる理由でもあった。そこを突然ですね、退職を奨励されてしまった。この日はやっぱり忘れることは出来ない一生の節目です。しかし、お顔を見て安心いたしました。良い作品であります。

福井中央郵便局長賞

手を取られマニキュア塗られてほほ笑みき緩和病棟にあの日の母は

福井県 後藤由美子

女性はいつまでも女性であり続ける、マニキュアを塗られてね、塗る私、そして塗られている母、こういう行為と

いなかね、男には出来ない作品ですけども、母と娘の情愛の深さ、母の表情が実に豊かに詠まれている作品だと感銘いたしました。

歴史のみえるまちづくり協会理事長賞

焼夷弾のすだれの中に消えた母三月九日疎開児八歳

福井県 田中 美代子

三月九日、これは七十四年前の東京大空襲、まさにこの日であります。田中さんの御家族は当時東京にお住まいで、それで田中さんは後でその日の事を聞いたんだと思いますけど、疎開児になっておりましたから。私も当時十八年生まれで二歳でありました。母が前年亡くなっているもんですから、祖母に背負われて大空襲の中を逃げまどっております。この身体は戦災を体験しております。そんな意味を込めましてこの作品は、見事なんだよ。「焼夷弾のすだれの中に消えた母三月九日疎開児八歳」、素晴らしい作品であると思いました。

受賞者の皆さんおめでとうございました。続きまして秀作でございますけれども、どの作品をみても受賞しておかしくない作品、受賞してもらいたかった作品なんです。しかし、心を鬼にして選んだわけでありまして。

秀作

嘘をつき義母ははを入院させた日の夫つまと見上げた雲降みぞれる空

神奈川県 松村 美知子

堪らんですね、お義母さんがもう余命もなかったのかもわからない。それを一生懸命励ます意味で病名を明かさずに入院し、そしてふと夫と共に見上げると、雲が降っている空を見上げる。なんかお義母様のその後いろんな事を暗示している一首であります。当然入賞していい作品であると思いました。

拉致されしあの日を語る地村氏の顔がたまゆら曇る瞳の中

福井県 織田 香寿子

「顔がたまゆら曇る瞳の中」、うっとりするほど見事な措辞であります。相当根を入れないと、こういう一首は生まれてきません。

次の作品、出席者だけを讀ましていただいております。

病みし身をひたむきに生きて兄逝きぬあの夏の日の光の向かう

神奈川県 鎌田 澄子

あの日の、あの夏の日の光の向かう、頭韻を踏んでいるんですね。この頭韻を踏んだ鮮やかなこの配置によってですね、まるでこの光の中にすーっと消えていく姿が見えてくるようであります。鮮やかな作品であります。他にも批評したい作品がたくさんありました、とにかく短歌はね、やはり私達の生き様、生きている人生を詠ってこそ短歌ではないかと思えます。優れた作品にこの平成最後という年に巡りあえた幸せをかみしめて帰らせていただきたいと思えます。

ありがとうございました。おめでとうございます。

第24回（平成30年度） 平成独楽吟 応募総数

	独楽吟部門		テーマ短歌部門		計		独楽吟部門		テーマ短歌部門		計
	ハガキ等	ネット	ハガキ等	ネット			ハガキ等	ネット	ハガキ等	ネット	
北海道	324	27	8	13	372	大 阪	276	30	13	19	338
青 森	4	4	3	2	13	兵 庫	387	26	31	14	458
岩 手	3	2	4	1	10	奈 良	193	7	2	1	203
宮 城	5	9	5	6	25	和歌山	80	2	0	2	84
秋 田	8	1	4	0	13	鳥 取	20	0	16	0	36
山 形	6	5	4	6	21	島 根	3	5	0	5	13
福 島	4	9	3	5	21	岡 山	9	11	10	6	36
茨 城	4	10	5	11	30	広 島	7	8	1	6	22
栃 木	7	6	2	5	20	山 口	2	9	3	6	20
群 馬	49	10	4	6	69	徳 島	40	2	13	0	55
埼 玉	200	25	47	20	292	香 川	8	2	3	2	15
千 葉	10	28	8	13	59	愛 媛	3	5	3	4	15
東 京	517	88	26	33	664	高 知	4	1	3	1	9
神奈川	262	39	19	21	341	福 岡	13	17	4	11	45
新 潟	6	5	5	6	22	佐 賀	17	6	17	3	43
富 山	136	5	4	2	147	長 崎	108	8	8	2	126
石 川	293	9	6	1	309	熊 本	44	22	7	6	79
福 井	2,506	55	94	16	2,671	大 分	141	4	5	3	153
山 梨	2	4	1	1	8	宮 崎	3	1	3	2	9
長 野	62	6	1	3	72	鹿 児 島	11	2	3	1	17
岐 阜	405	7	106	3	521	沖 縄	29	1	4	2	36
静 岡	100	10	7	11	128						
愛 知	102	25	11	15	153	外 国	1	0	1	0	2
三 重	24	7	5	4	40						
滋 賀	178	6	3	5	192	総 数	6,677	588	540	317	8,122
京 都	61	17	5	12	95	総応募数	7,265		857		

（年代別）

年代別	独楽吟部門		テーマ短歌部門		計	年代別	独楽吟部門		テーマ短歌部門		計
	ハガキ等	ネット	ハガキ等	ネット			ハガキ等	ネット	ハガキ等	ネット	
10歳未満	113	1	22	1	137	60代	179	141	83	72	475
10代	5,934	70	220	21	6,245	70代	187	80	84	40	391
20代	7	61	4	45	117	80代	87	11	36	4	138
30代	19	61	9	38	127	90代以上	14	2	6	2	24
40代	38	79	24	41	182	不 明	36	0	7	1	44
50代	63	82	45	52	242	計	6,677	588	540	317	8,122

主催
福井市

公益財団法人 歴史のみえるまちづくり協会

共催
福井新聞社

日本放送協会福井放送局

後援
福井県

福井県教育委員会

福井市教育委員会

福井中央郵便局

福井本丸ライオンズクラブ

協賛
熊本市

第二十四回（平成三十年度）

平成独楽吟

二〇一九年五月 発行

発行 福井市

〒九一〇八五一

福井市大手3丁目10番1号

〇七七六（二〇）五三六七

編集

公益財団法人

歴史のみえるまちづくり協会

〒九一八八〇〇七

福井市足羽1丁目6番34号

福井市橘曙覧記念文学館内

〇七七六（三五）〇八五五